

証券コード:6839

## 船井電機株式会社

〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号  
http://www2.funai.co.jp/



### 当期の概況

北米市場における液晶テレビ販売台数減と液晶パネル価格高騰により減収減益となりました

### 次期の展望

AV事業を中心とした収益改善により黒字体質への転換を図ります

### 特集

ヤマダ電機で4K対応テレビを独占販売。

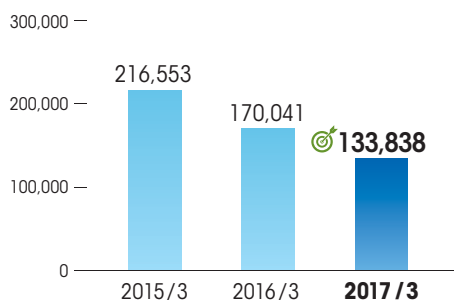
## 「国内市場におけるFUNAIブランドの躍進」へ

(詳細は中面参照)

## 財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

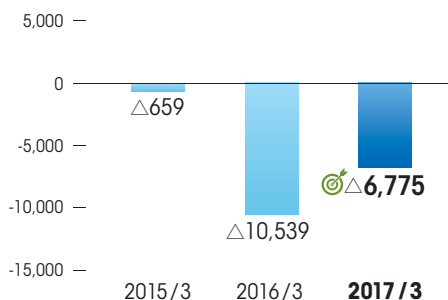
### 売上高 (百万円)



#### KEYPOINT

BDプレーヤ、レコーダは好調だったものの、米州での液晶テレビの受注不振などが影響し、前期比21.3%の減収となりました。

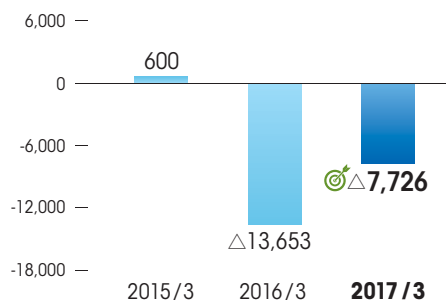
### 営業利益 (損失) (百万円)



#### KEYPOINT

パネル価格の高騰やメキシコでの価格競争による粗利益減少などにより、営業損失は6,775百万円となりました。

### 経常利益 (損失) (百万円)

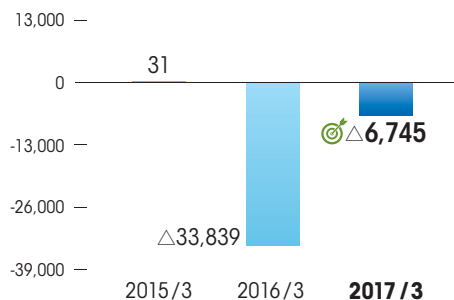


#### KEYPOINT

メキシコペソの為替差損などを計上したことにより、経常損失は7,726百万円となりました。

### 親会社株主に帰属する

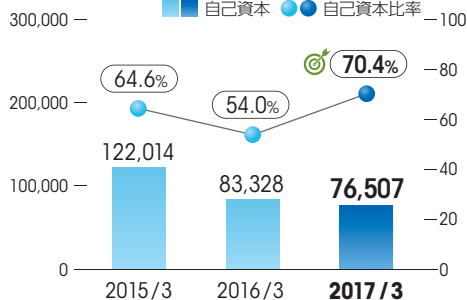
### 当期純利益 (損失) (百万円)



#### KEYPOINT

フィリップスに対する仲裁金支払いの影響がなくなったことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は6,745百万円と改善しました。

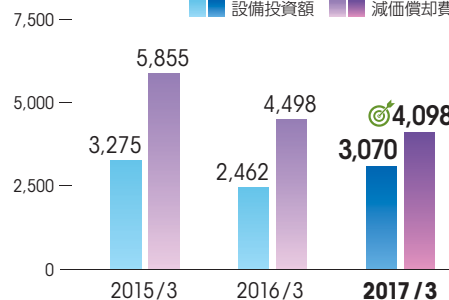
### 自己資本・自己資本比率 (百万円)



#### KEYPOINT

未払金や借入金が前期比で減少したことなどにより、自己資本比率は70.4%と改善しています。

### 設備投資額・減価償却費 (百万円)



#### KEYPOINT

工場関連で償却が進んだため、減価償却費は減少しています。



## AV事業へ経営リソースを集中し、 確固たる黒字体質への転換を図ります

代表取締役 執行役員社長 船越 秀明

### 略歴

1965(昭和40)年9月30日生まれ。1993年当社入社。DVDプロジェクト部長やAVシステム事業本部本部長などを経て、2010年から取締役執行役員、2017年5月15日付けで社長に就任。一般のヤマダ電機におけるFUNAIブランド独占販売を主導。大阪府出身。

この度、船井電機の代表取締役 執行役員社長となる、船越秀明と申します。

当社の業績は2期続けて赤字となりましたが、北米の年末商戦においてフィリップスブランド4Kテレビの販売が好調であり、今後の販売拡大について確かな手応えを感じることができています。さらに次期(2018年3月期)は、主軸事業である液晶テレビにおいて北米でのシェア拡大、国内でのFUNAIブランドの導入に投資を集中し、「強い船井電機」を取り戻すべく強力で進めていきます。役員はもちろん、全社を挙げて意識改革を断行し、スピード感を持って業務に取り組み、株主の皆様のご期待にお応えできるよう精進したいと存じます。

### Q 当期(2017年3月期)の業績は?

#### A 液晶パネル価格高騰が 利益の減少に影響しました

北米市場に投入した4KBDプレーヤーは販売好調だった一方、液晶テレビは北米市場での新規顧客販売が想定通りに進まなかったこと、オーディオアクセサリーの売上が契約終了によりなくなったことなどにより、当期の売上高は133,838百万円(前期比21.3%減)となりました。また、液晶パネル価格の高騰やメキシコでの価格競争激化による粗利益率の減少などにより営業損失は6,775百万円(前期は10,539百万円の営業損失)、メキシコペソに対する円高による為替差損などにより経常損失は7,726百万円(前期は13,653百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純損失は6,745百万円(前期は33,839百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

自己資本比率はフィリップス仲裁金支払いが終了したことなどにより70.4%(前期は54.0%)と改善し、財務の健全性を高めています。

### Q 中期的な戦略と次期(2018年3月期)の方針は?

#### A AV事業を中心とした収益改善により 黒字体質への転換を図ります

2018年3月期から3カ年計画で、赤字からの脱却、AV事業の拡大強化、生産性向上の3つを柱にAV事業を中心とした収益改善を進めます。赤字からの脱却として、自社開発プリンターの不採算製品の縮小や製造コストの見直し、μ(マイクロ)フルイディスク(微量流体制御技術)への投資の一時縮小の検討を行うほか、アメリカ販売子会社の組織統合などを進めます。AV事業の拡大強化として、2019年までに北米シェア15%を

目標に、4K・大型モデル・NET対応モデルのラインナップの拡充や販売チャネルの拡大を進めるとともに、国内では2020年までにシェア20%(年間100万台販売)を目標に、ヤマダ電機でFUNAIブランドの独占販売を開始、2017年春に11モデル、秋に2モデルを追加する計画です。同時に「強い船井電機を取り戻す」を合言葉に、最新技術、最新設計、最新部品を採用した先行開発を強化。部品の内製化や海外工場の生産地での調達比率アップを進め、市場競争力を高めていきます。これにより、2018年3月期は売上高1,600億円、営業利益6億円、さらに2020年3月期には売上高2,100億円、営業利益60億円と、黒字体質への転換を図っていきます。

また私が指揮を執る新たな経営体制のもと、業務改善とさらなる発展を目指し、経営のスピード化とコーポレートガバナンスの強化に邁進していきます。

### Q 配当は?

#### A 経営環境などを考慮し、 1株当たり10円とさせていただきます

株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、経営基盤の強化を図りながら安定配当を維持することを基本方針としています。具体的な基準として連結純資産配当率1.0%を基本に、配当金の支払を年1回、期末に実施しています。

上記の方針を踏まえ、当期の期末配当金につきましては、前期に続いて当期純損失を計上したことから、1株当たり10円とさせていただきます。次期の配当については未定です。

株主の皆様には、当社グループの事業にご理解を賜り、今後とも変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 特集

Special Feature



ヤマダ電機で4K対応テレビを独占販売。

## 「国内市場における FUNAIブランドの躍進」へ

### 家電業界のリーディングカンパニー、 ヤマダ電機で5シリーズ全11モデルを独占販売

2020年の東京五輪を前に、買い替え需要が増すと見込まれる国内テレビ市場。「フルハイビジョン」の4倍の解像度をもつ「4K」テレビや、16倍の「8K」テレビの普及が加速するとの期待が高まっています。加えて、従来の「液晶」ディスプレイに代わる「有機EL」や、クリアな輝度を実現する「HDR」などの新技術の登場にも注目が集まっています。このような状況を好機ととらえ、当社はヤマダ電機と業務提携、2017年6月2日からFUNAIブランドの「4K」テレビの販売を開始しました。

ヤマダ電機は「ユーザーがどんなテレビが欲しいのか」、「どんな機能を望んでいるのか」を熟知しています。同社の顧客ニーズを開発段階から吸い上げて共同開発を行うことで、

#### ヤマダ電機とのコラボレーション効果

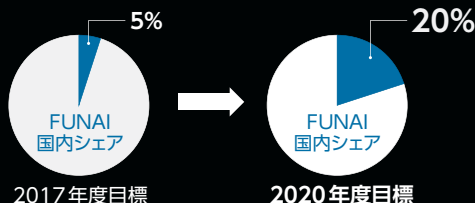
- ヤマダ電機の顧客の声を活かして製品を開発
- 店頭にFUNAI専用コーナーを展開
- FUNAI製品を熟知した「フナイマイスター」を全店に配置
- テレビ販売トップ(国内家電量販店)の販路を積極活用

確実に顧客ニーズに合致した製品を市場投入することができるという大きなメリットがあります。また、国内家電量販店でのテレビ販売トップの同社の販路を活かし、2017年度に国内シェア5%を目指します。

### 2020年度には国内シェア20%達成を目指す

今年2017年は「有機ELテレビ元年」といわれ、商戦を本格化する動きが見られます。当社も2018年中には「有機EL」事業への参入を予定しています。北米での出荷実績が示す「FUNAI」の生産能力の高さを活かし、今後の五輪特需に対応していきます。

また、ヤマダ電機とのコラボレーションをいっそう強め、製販一体となって新たなAV市場を創造することで、2020年度には国内シェア20%達成を目指していきます。



#### 商品の特徴



#### 充実の録画機能

ヤマダ電機の顧客ニーズを反映し、全モデルに録画用ハードディスクドライブ(HDD)または録画用メモリーを搭載。最大2週間分の番組を自動録画



#### 斬新なデザイン

スタンドやフレームをはじめ、リモコンまでこだわりのデザインを追究



#### 4K高画質+HDR

4K画質に加え、HDR映像に対応し、圧倒的な映像美を実現



#### 迫力の高音質

全機種10W×2Chの高音質に加え3Dサラウンドを実現



#### ネットとの連動

リモコンのダイレクトボタンからワンボタンでネットに接続



#### スマホに対応

アプリを使って外出先からも録画予約が可能

このような高機能を  
備えながら、他社製品と  
遜色ない価格帯を実現!

